

令和6年度(2024年度)実績

宝塚市 介護保険事業概要

宝塚市 健康福祉部 介護保険課

▼ 目次

01 被保険者・認定

1 市全体の状況

- ・高齢者人口・高齢化率の推移
- ・第1号被保険者数
認定率の推移
- ・被保険者数内訳
- ・認定者数内訳

2 地域別の状況

- ・第1ブロック(小林)
- ・第2ブロック(逆瀬川)
- ・第3ブロック(御殿山)
- ・第4ブロック(小浜)
- ・第5ブロック(長尾)
- ・第6ブロック(花屋敷)
- ・第7ブロック(西谷)
- ・ブロック間の比較

02 介護給付費

1 サービス種類別

介護給付費の推移

03 介護サービス

1 サービス種類別

利用者数の推移

2 要介護度別利用者数の推移

04 介護保険料

1 保険料について

- ・保険料一覧
- ・保険料基準額の推移(年額)

2 所得段階別

第1号被保険者数

3 徴収方法別収納状況

05 財務

1 介護保険特別会計決算状況

※出典の記載がないものは介護保険課作成

01

被保険者・認定

被保険者・認定

介護給付費

介護サービス

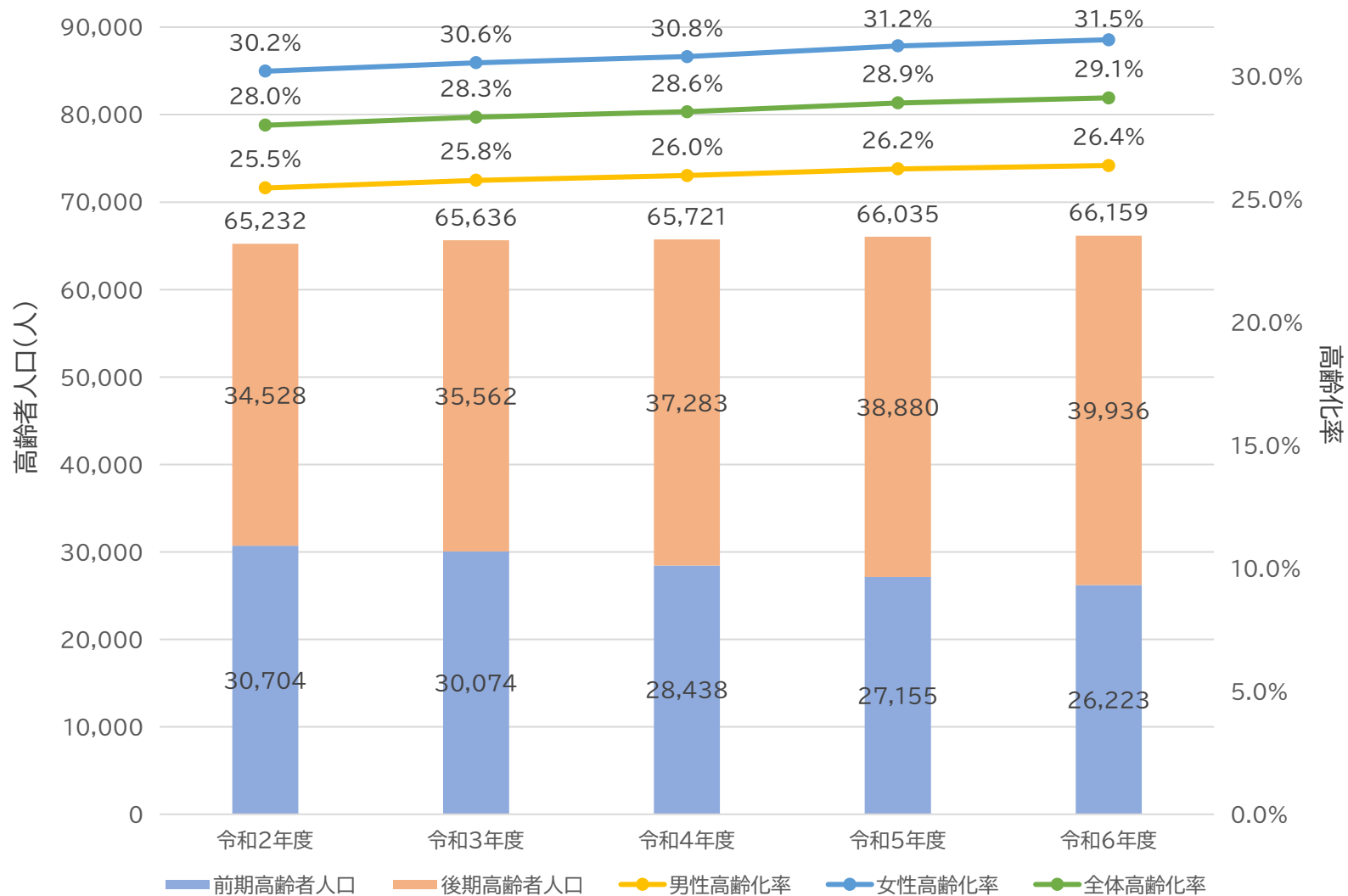
介護保険料

財務

1. 市全体の状況

■高齢者人口・高齢化率の推移

※各年度3月末現在 住民基本台帳による人口



令和2年度から令和6年度にかけて高齢者数、高齢化率はともに増加傾向にある。全年齢人口は減少傾向にあるため、今後も高齢化率が上昇していくと想定される。

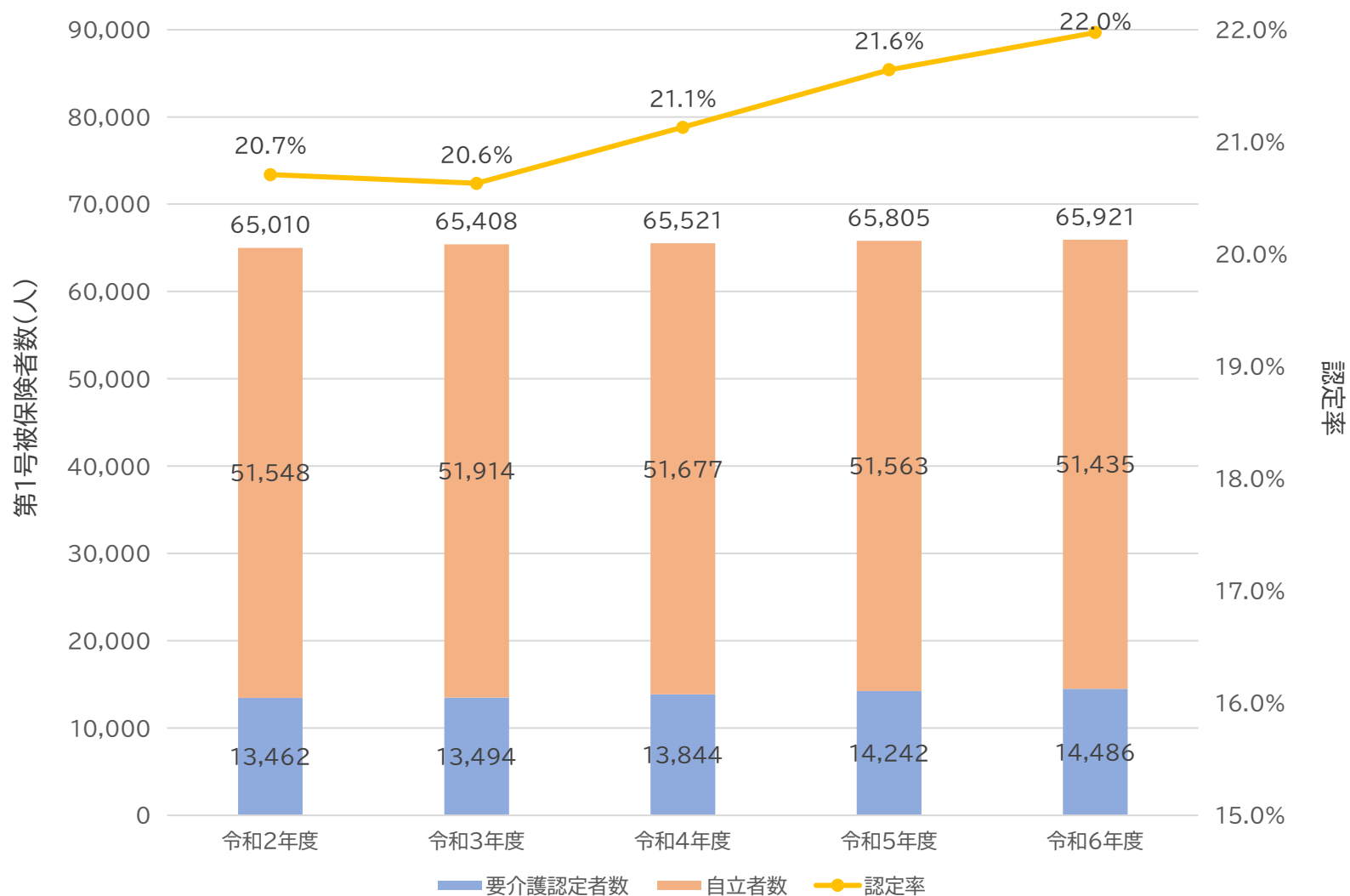
前期・後期別に高齢者の人数を見ると、前期高齢者は減っているが、後期高齢者が増加している。

また、男女別に高齢化率を見ると、女性の方が平均寿命が長いため、高齢化率が男性に比べて各年5%ほど高くなっている。

1. 市全体の状況

■第1号被保険者数・認定率の推移

※各年度3月末現在 介護保険事業状況報告(年報)から



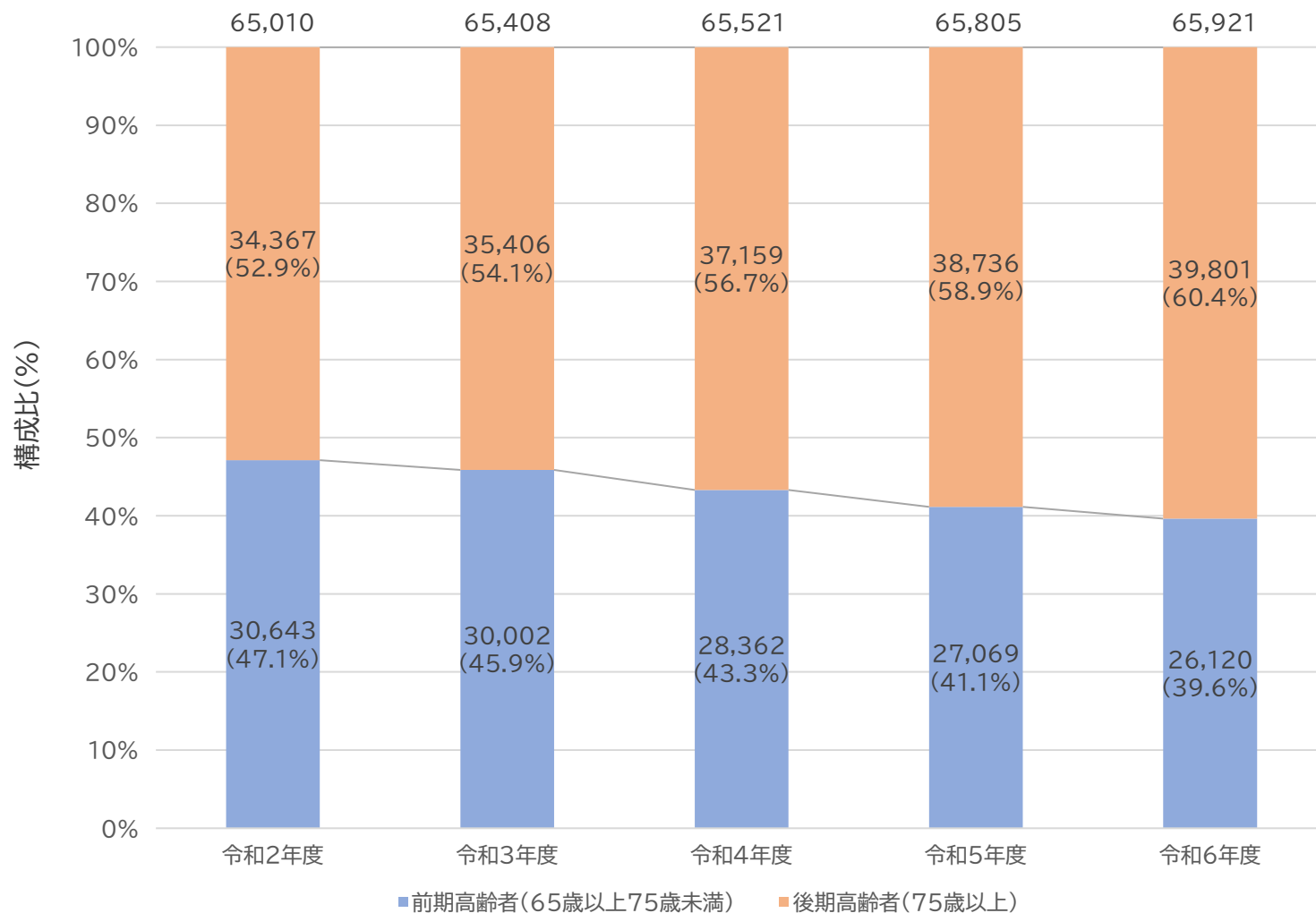
令和2年度から令和6年度にかけて第1号被保険者数、要介護認定者数、認定率はともに増加している。特に令和3年度から認定率が上昇傾向にある。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大による申請控えがあり、令和4年度に申請を行ったことで大幅に認定率が上昇したと考えられるが、全体的に高齢化が進み、認定率も上昇していると考えられる。

1. 市全体の状況

■被保険者数の内訳

※各年度3月末現在 介護保険事業状況報告(年報)から



後期高齢者の割合
(R2と比較して)

+7.5%

被保険者の内訳を見ると、
前期高齢者(65歳以上75歳未満)の割合が減少し、後期高齢者(75歳以上)の割合が増加している。

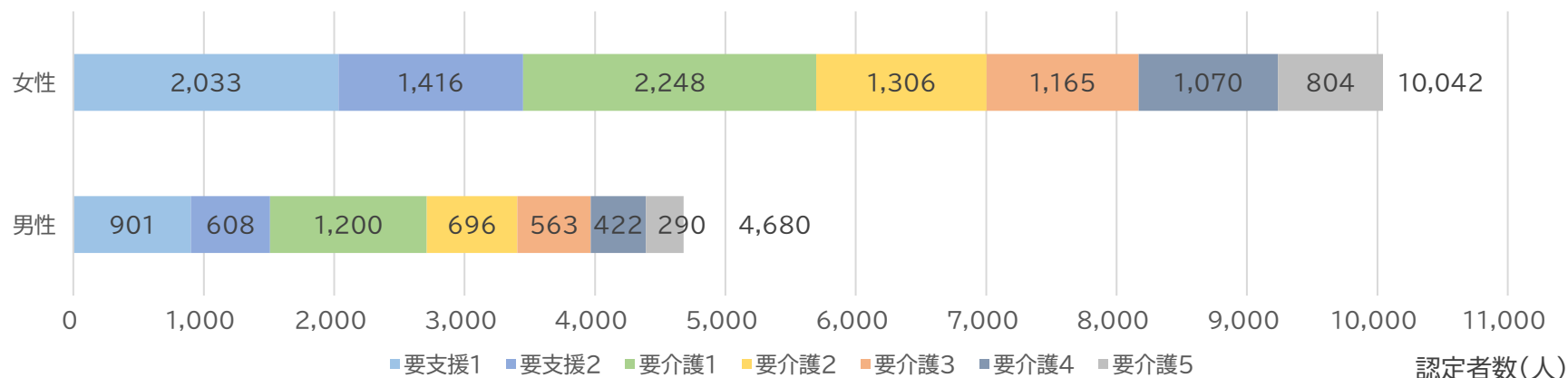
後期高齢者の割合が増加しているため、
認定率も上昇していると推測される。

1. 市全体の状況

■ 認定者数の内訳

[要介護度別]

※令和6年度末現在 介護保険事業状況報告(年報)から

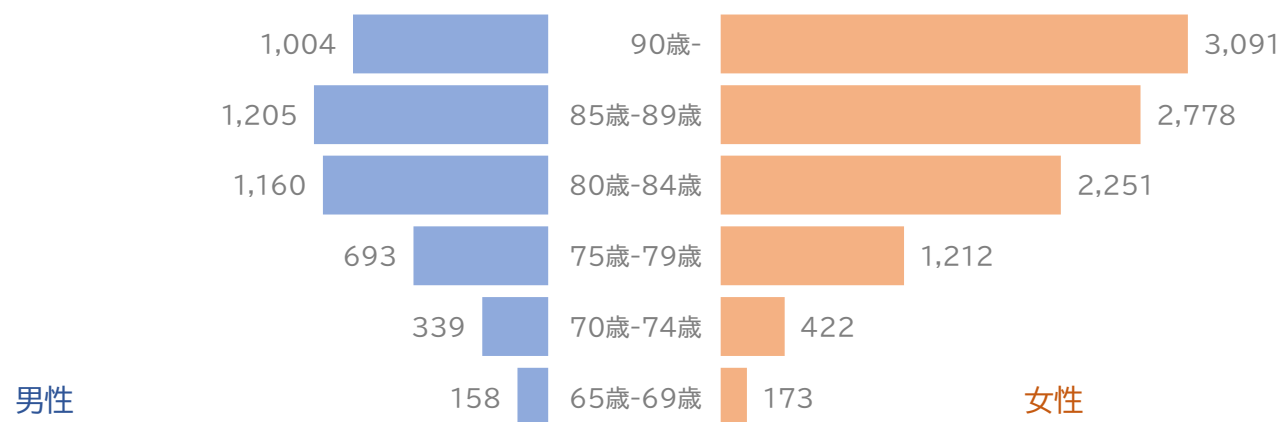


要介護認定者数は女性の方が男性の2倍以上多い。

他市町村に比べ、宝塚市は比較的軽度者が多いのが特徴である。

[年齢区分別(第1号被保険者のみ)]

認定者数(人)



年齢別にみると、男性は85-89歳、女性は90歳以上が一番多い。

被保険者・認定

介護給付費

介護サービス

介護保険料

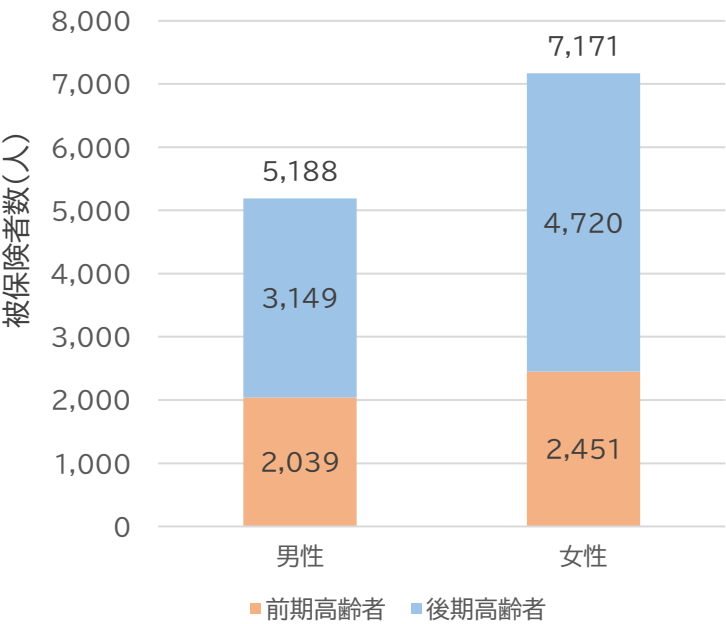
財務

2. 地域別の状況

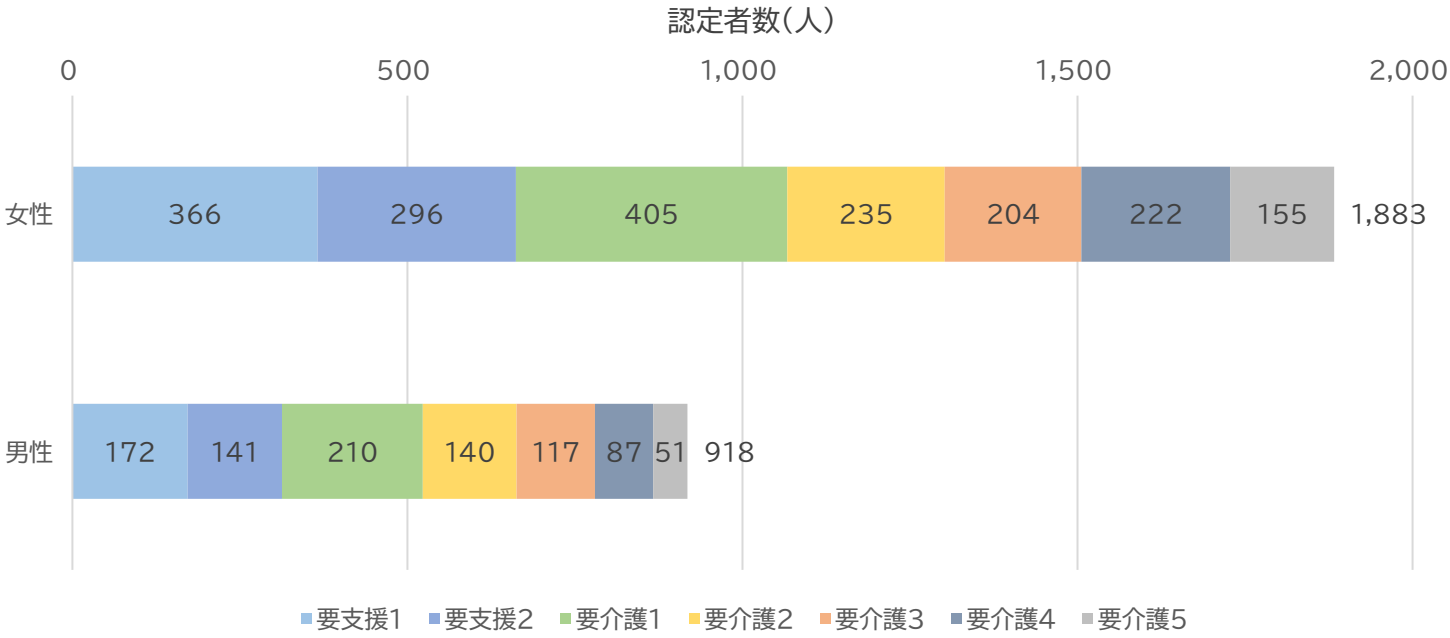
■第1ブロック(小林)

第1号被保険者数	要介護認定者数	要介護認定率		圏域内施設数	
12,359人	2,801人	22.7%	男性 17.7% 女性 26.3%	9	介護保険施設 3 その他(有料・サ高住等) 6

[第1号被保険者内訳]



[要介護認定者内訳]

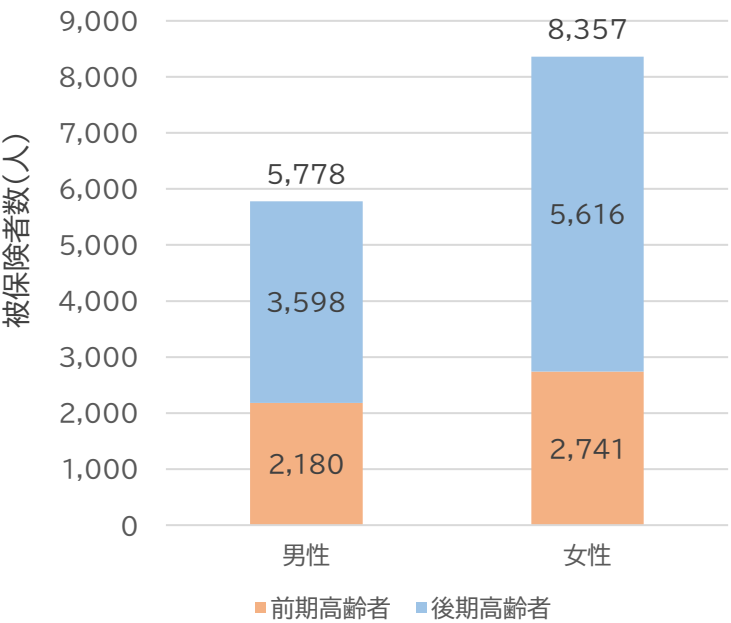


2. 地域別の状況

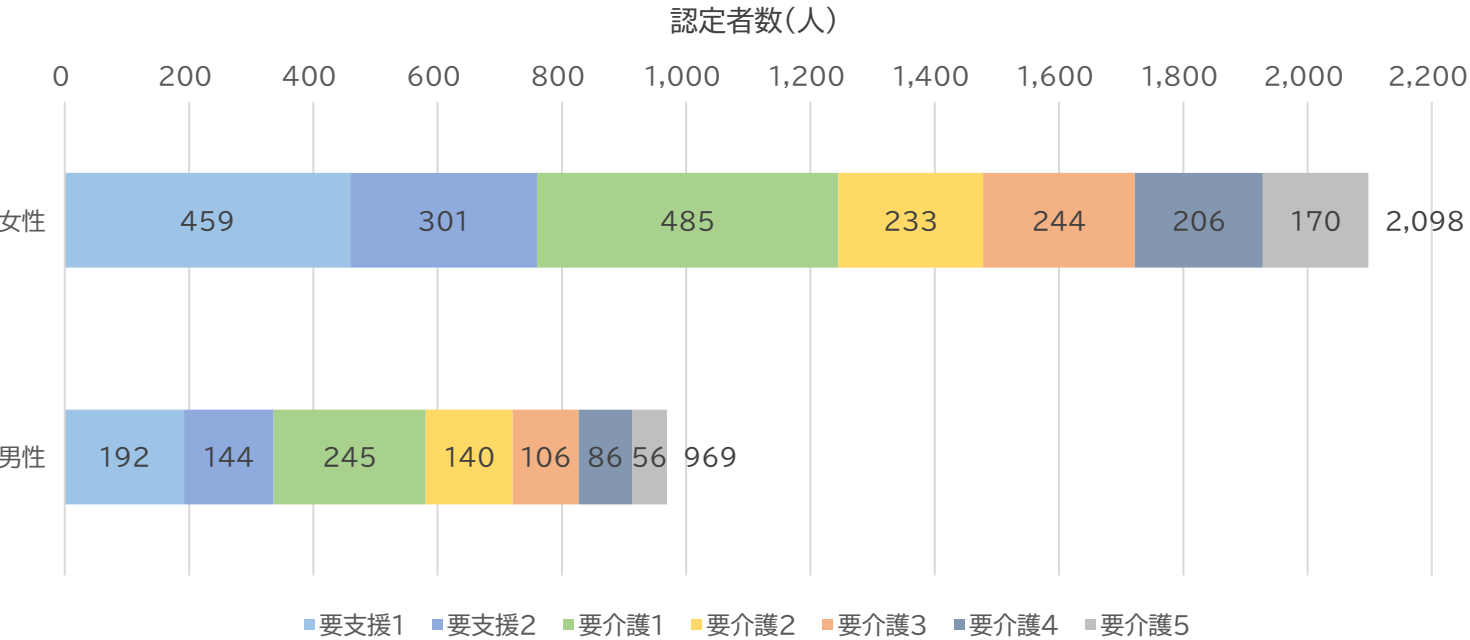
■第2ブロック(逆瀬川)

第1号被保険者数	要介護認定者数	要介護認定率		圏域内施設数	
14,135人	3,067人	21.7%	男性 16.8% 女性 25.1%	10	介護保険施設 1 その他(有料・サ高住等) 9

[第1号被保険者内訳]



[要介護認定者内訳]



被保険者・認定

介護給付費

介護サービス

介護保険料

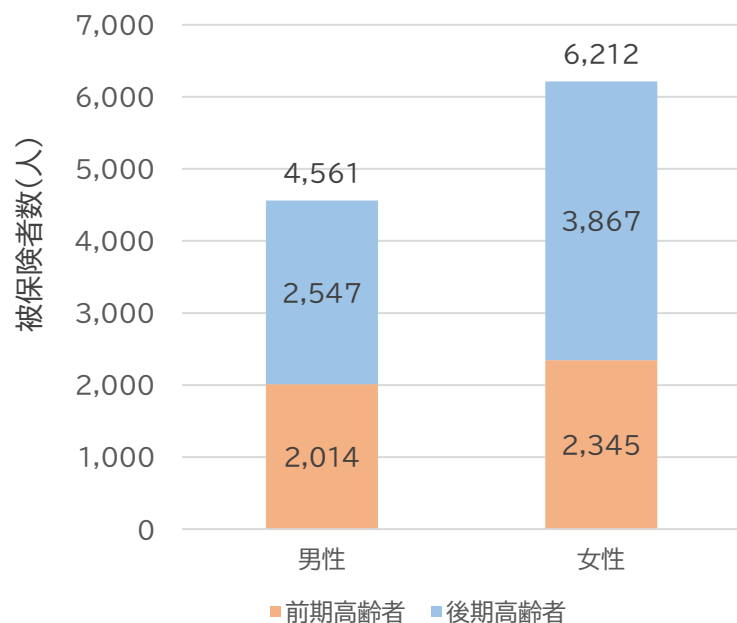
財務

2. 地域別の状況

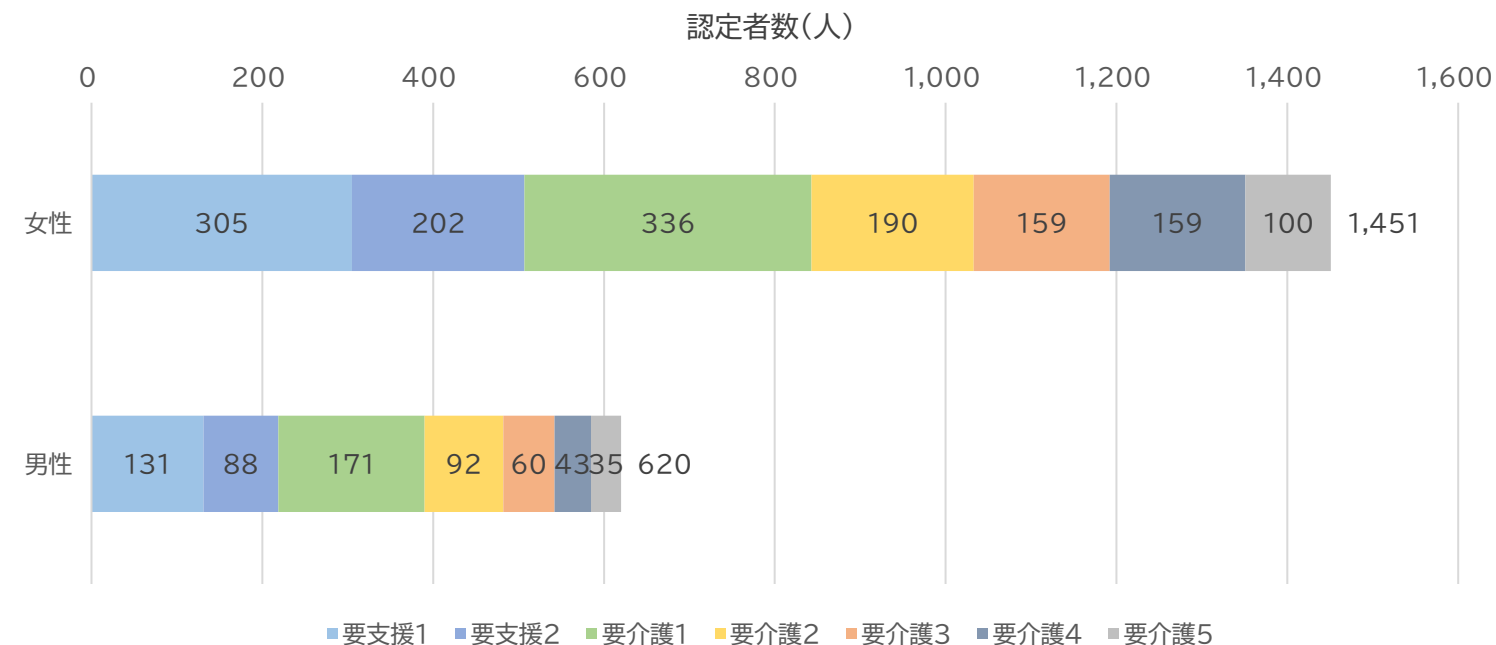
■第3ブロック(御殿山)

第1号被保険者数	要介護認定者数	要介護認定率		圏域内施設数	
10,773人	2,071人	19.2%	男性 13.6% 女性 23.4%	6	介護保険施設 2 その他(有料・サ高住等) 4

[第1号被保険者内訳]



[要介護認定者内訳]



被保険者・認定

介護給付費

介護サービス

介護保険料

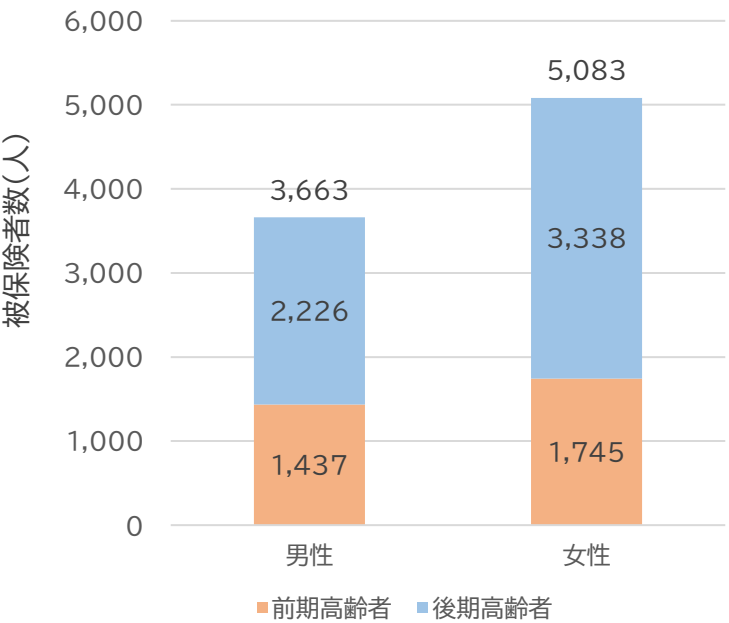
財務

2. 地域別の状況

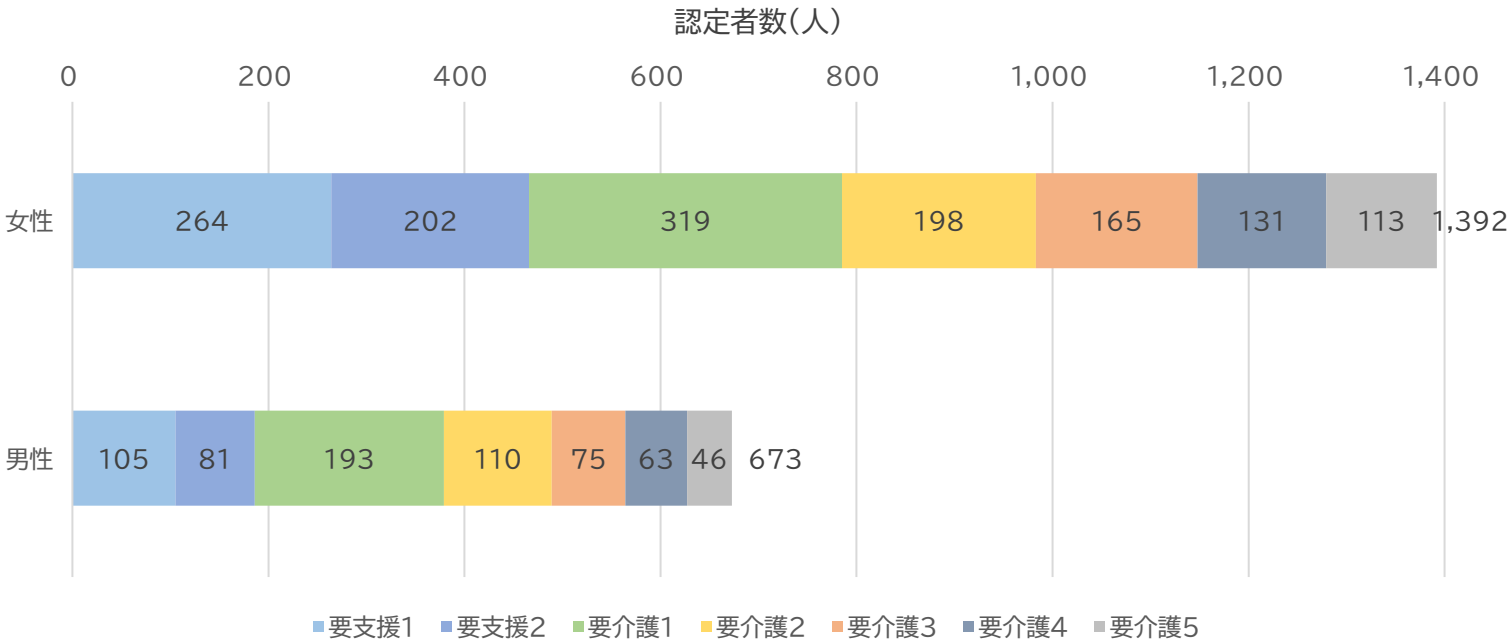
■第4ブロック(小浜)

第1号被保険者数	要介護認定者数	要介護認定率		圏域内施設数	
8,746人	2,065人	23.6%	男性 18.4% 女性 27.4%	16	介護保険施設 3 その他(有料・サ高住等) 13

[第1号被保険者内訳]



[要介護認定者内訳]



被保険者・認定

介護給付費

介護サービス

介護保険料

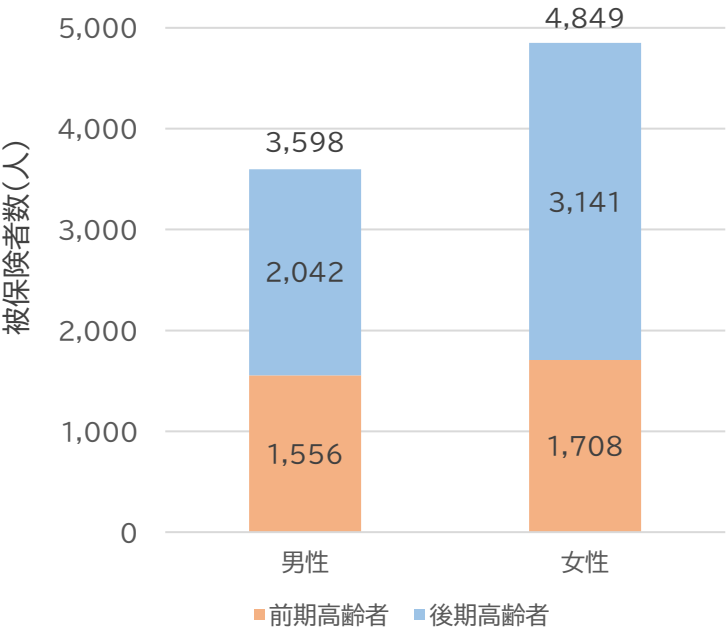
財務

2. 地域別の状況

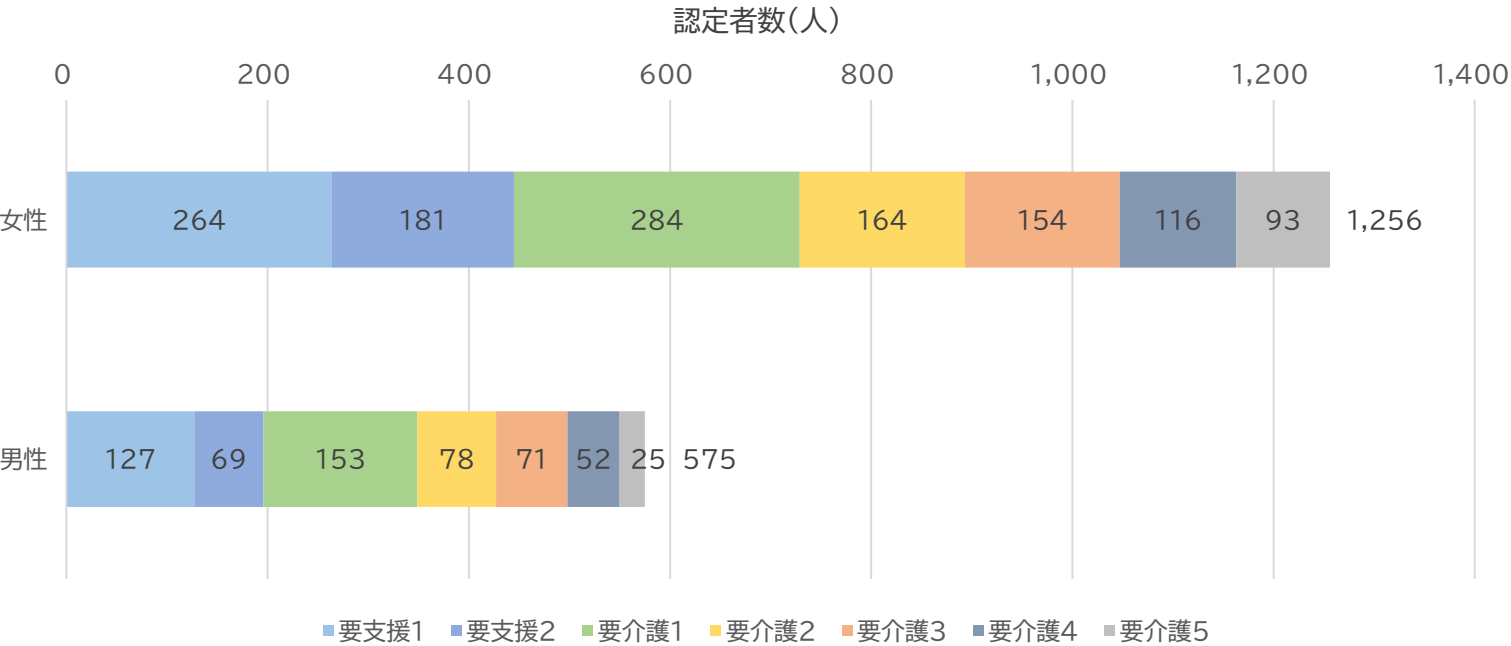
■第5ブロック(長尾)

第1号被保険者数	要介護認定者数	要介護認定率		圏域内施設数	
8,447人	1,831人	21.7%	男性 16.0% 女性 25.9%	8	介護保険施設 2 その他(有料・サ高住等) 6

[第1号被保険者内訳]



[要介護認定者内訳]

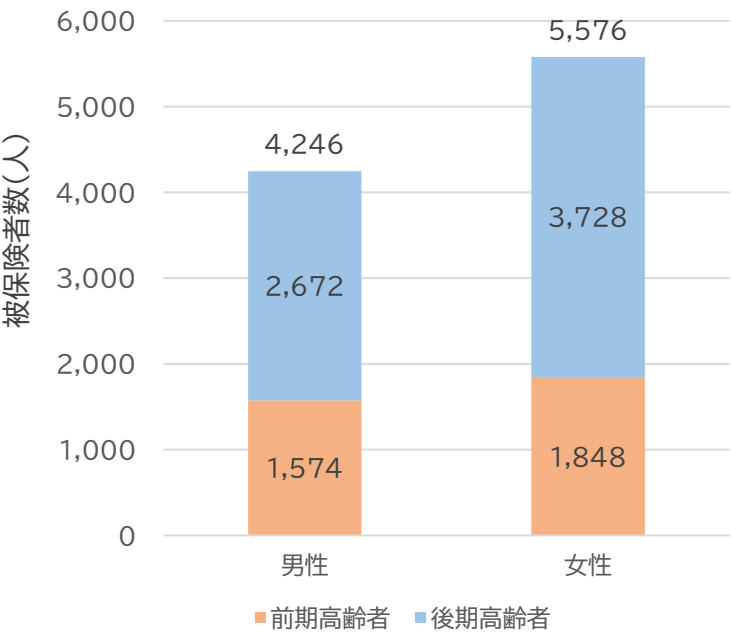


2. 地域別の状況

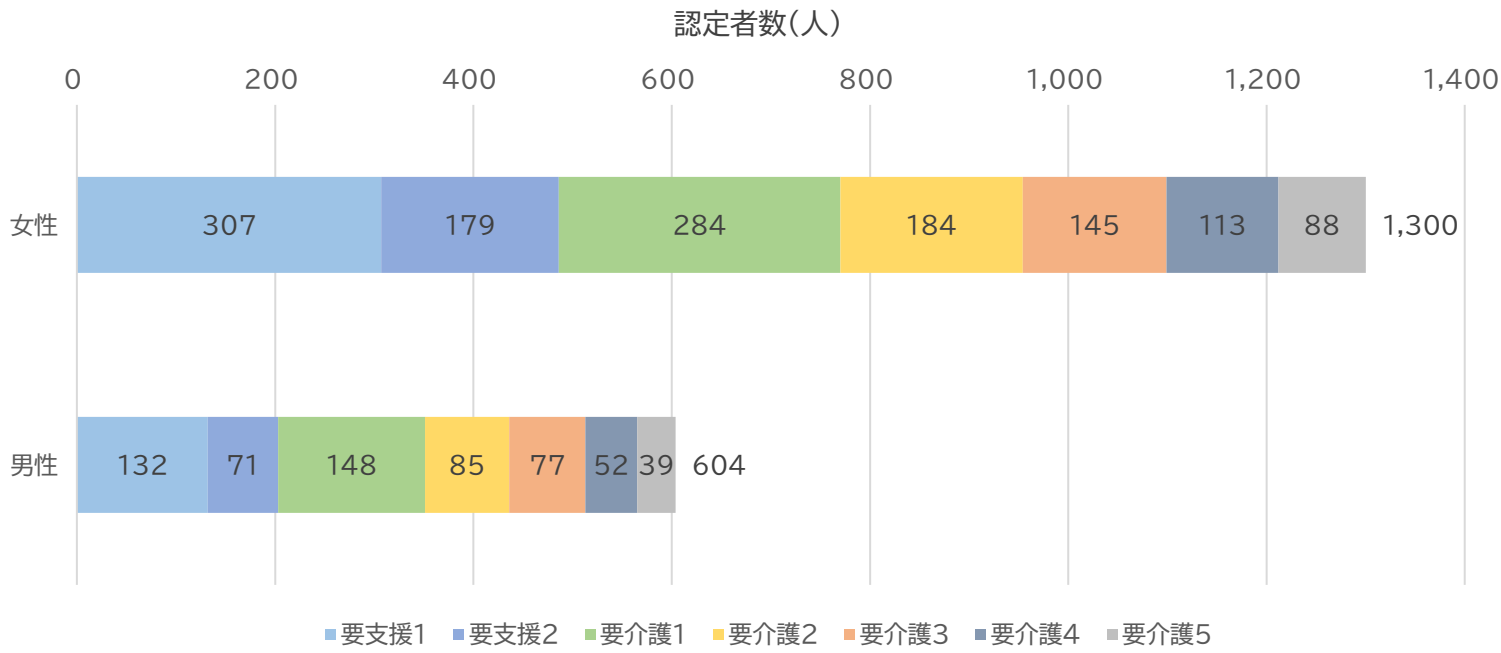
■第6ブロック(花屋敷)

第1号被保険者数	要介護認定者数	要介護認定率		圏域内施設数	
9,822人	1,904人	19.4%	男性 14.2% 女性 23.3%	6	介護保険施設 2 その他(有料・サ高住等) 4

[第1号被保険者内訳]



[要介護認定者内訳]

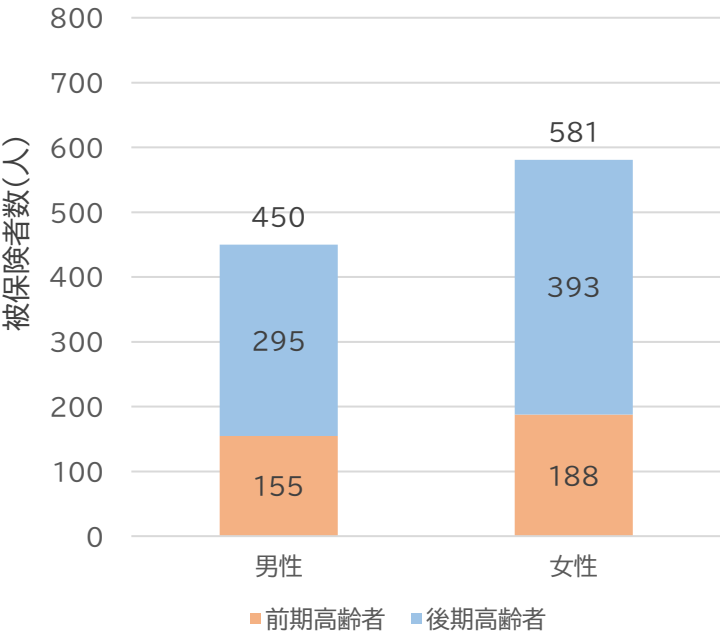


2. 地域別の状況

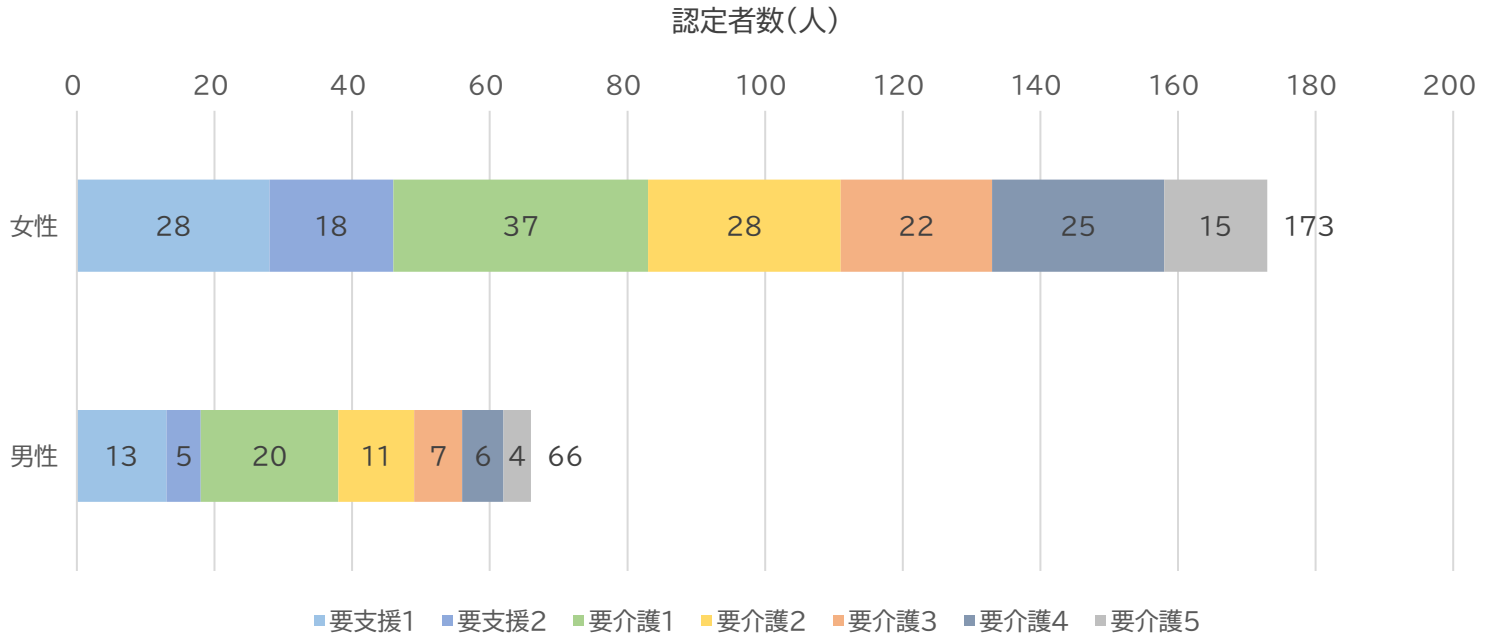
■第7ブロック(西谷)

第1号被保険者数	要介護認定者数	要介護認定率		圏域内施設数	
1,031人	239人	23.2%	男性 14.7% 女性 29.8%	2	介護保険施設 その他 (有料・サ高住等) 0

[第1号被保険者内訳]



[要介護認定者内訳]



被保険者・認定

介護給付費

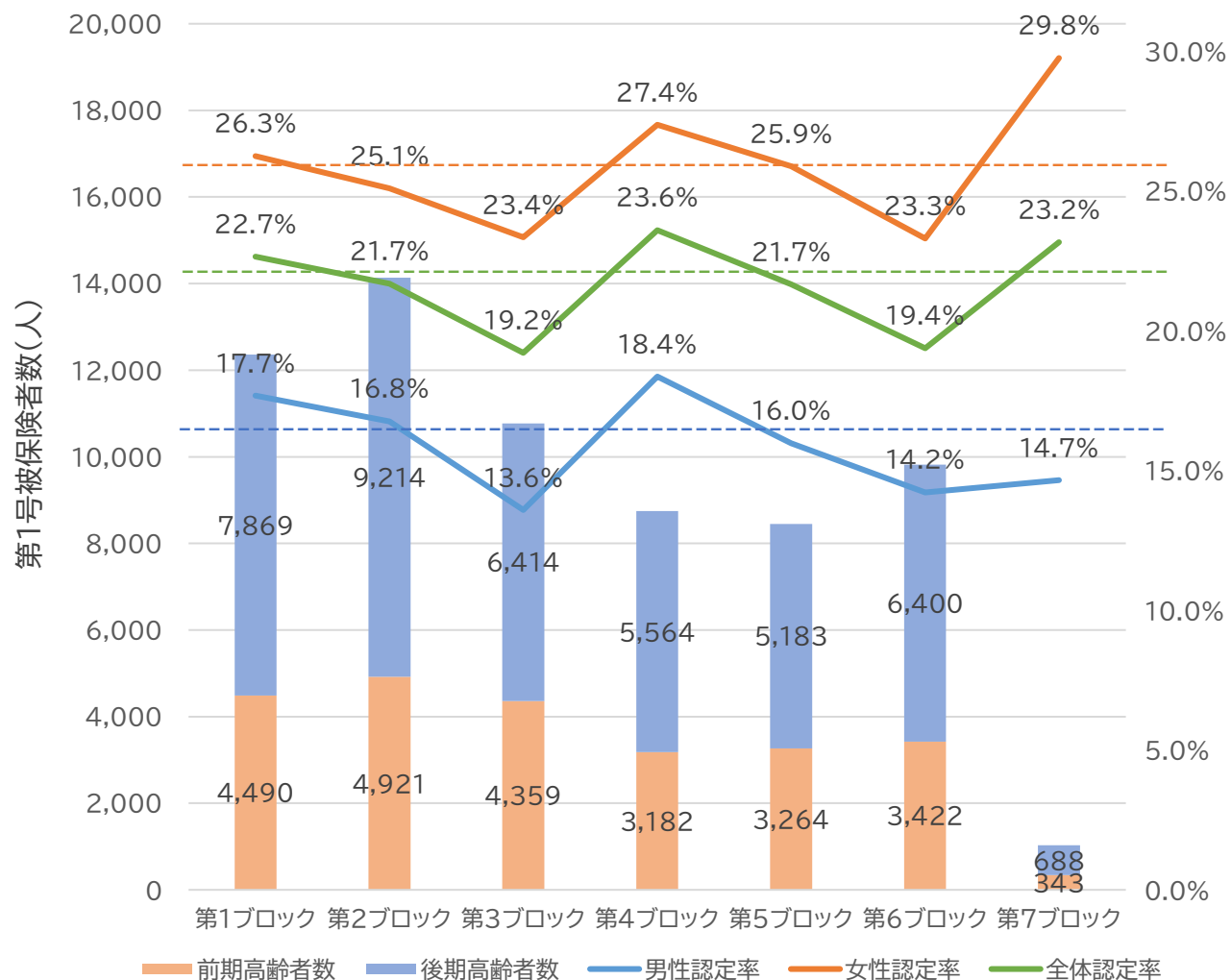
介護サービス

介護保険料

財務

2. 地域別の状況

■ブロック間の比較



女性認定率 市平均
25.9%
(前年度比+0.3%)



全体認定率 市平均
22.0%
(前年度比+0.4%)



男性認定率 市平均
16.5%
(前年度比+0.4%)



認定率

ブロックごとに比較すると、認定率が一番低いのが第3ブロック、一番高いのが第7ブロックである。
市内でもブロックにより認定率の差が大きいことが分かる。

02

介護給付費

被保険者・認定

介護給付費

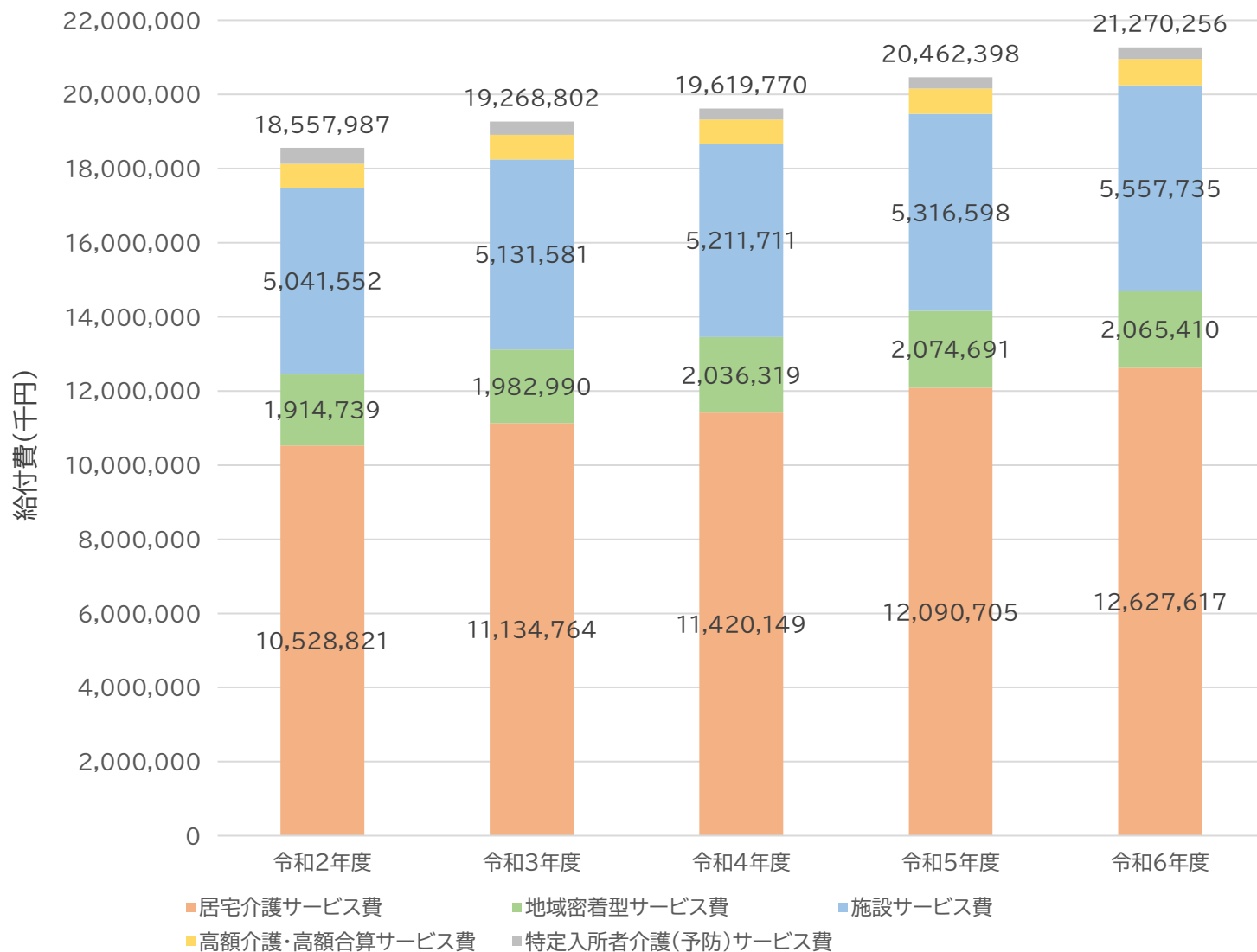
介護サービス

介護保険料

財務

1. サービス種類別介護給付費の推移

※審査支払手数料を除く



介護給付費は年々増加傾向にあり、令和6年度は総額で210億円を超え、前年度からの増加率は+3.9%となっている。令和4年度から令和5年度の伸び率は+4.3%であったため、引き続き急激な増加傾向となっている。居宅介護サービス費が介護給付費の半分以上を占めており、その割合も上昇傾向にある。

03

介護サービス

被保険者・認定

介護給付費

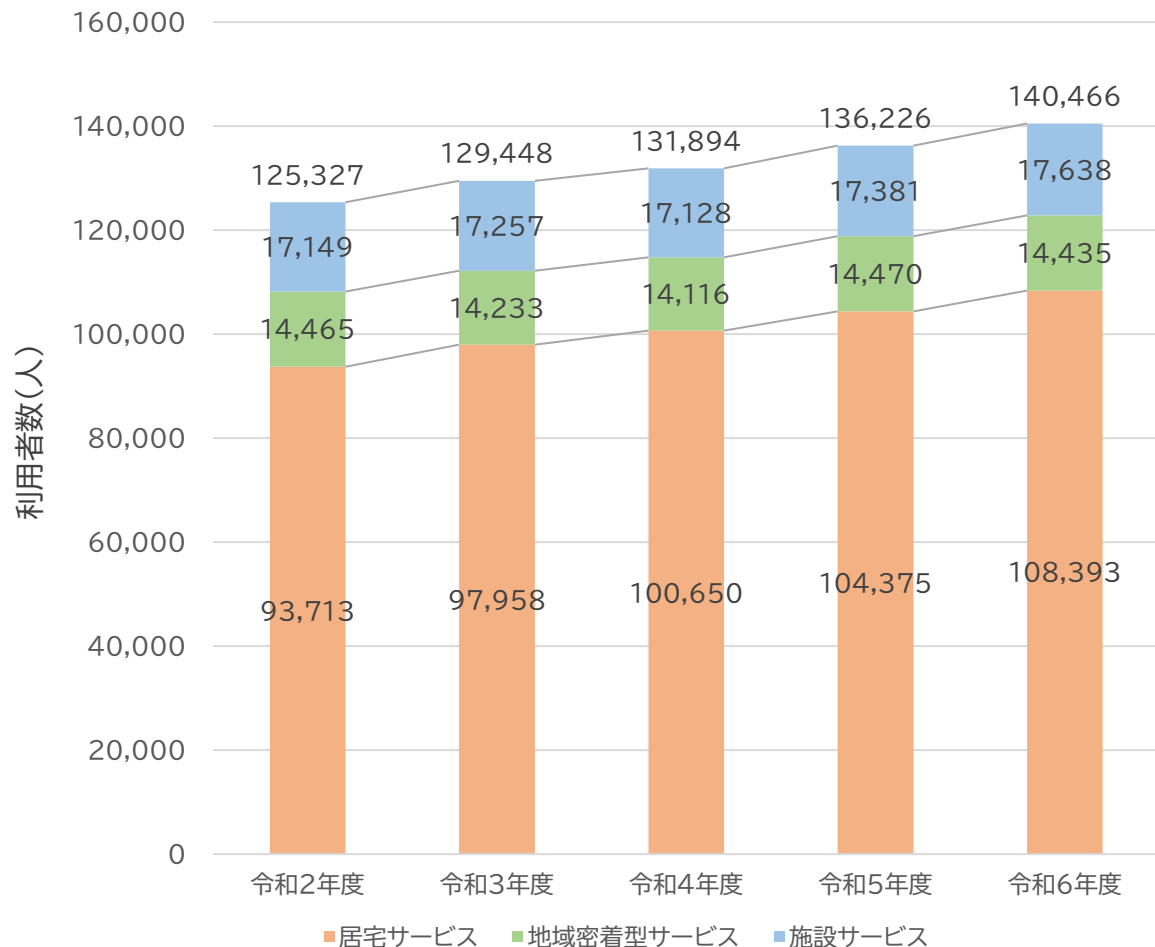
介護サービス

介護保険料

財務

1. サービス種類別利用者の推移

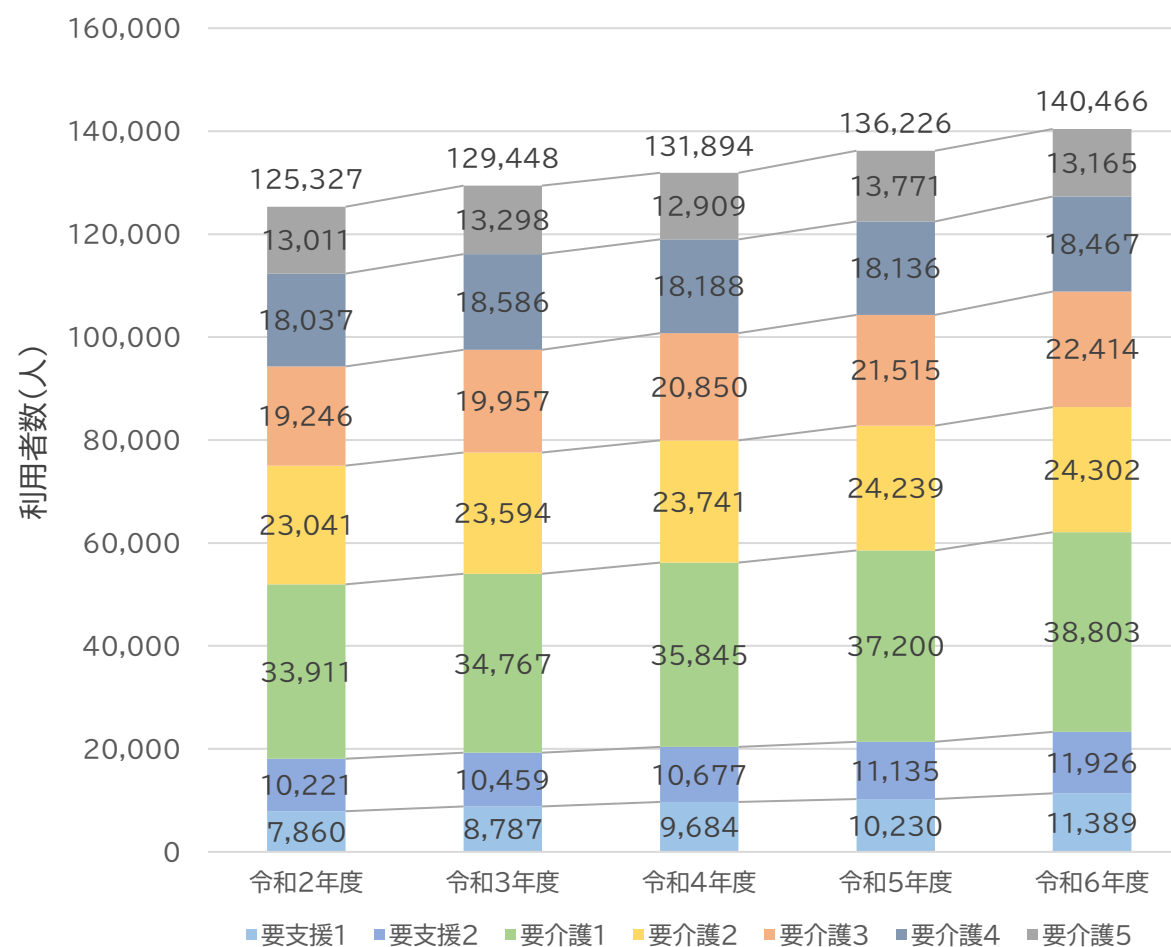
※介護保険事業状況報告(年報)から



全体的に利用者数は増加傾向であるが、地域密着型サービスは利用者数が横ばいで推移している。

2. 要介護度別利用者の推移

※介護保険事業状況報告(年報)から



令和6年度の重度者(要介護3-5)の割合は約38.5%で、軽度者(要支援1-要介護2)の割合は約61.5%となっており、利用者数が増加している中、軽度者の割合が少しずつ高くなっている。

04

介護保険料

被保険者・認定

介護給付費

介護サービス

介護保険料

財務

1. 介護保険料について

■保険料一覧(第9期)

所得段階	保険料額(円)	標準割合
第1段階	34,600	基準額×0.455
第2段階	52,100	基準額×0.685
第3段階	52,500	基準額×0.690
第4段階	68,400	基準額×0.900
第5段階(基準額)	76,100	基準額×1.000
第6段階	87,500	基準額×1.150
第7段階	98,900	基準額×1.300
第8段階	114,100	基準額×1.500
第9段階	129,300	基準額×1.700
第10段階	144,500	基準額×1.900
第11段階	159,800	基準額×2.100
第12段階	175,000	基準額×2.300
第13段階	182,600	基準額×2.400
第14段階	205,400	基準額×2.700
第15段階	228,300	基準額×3.000

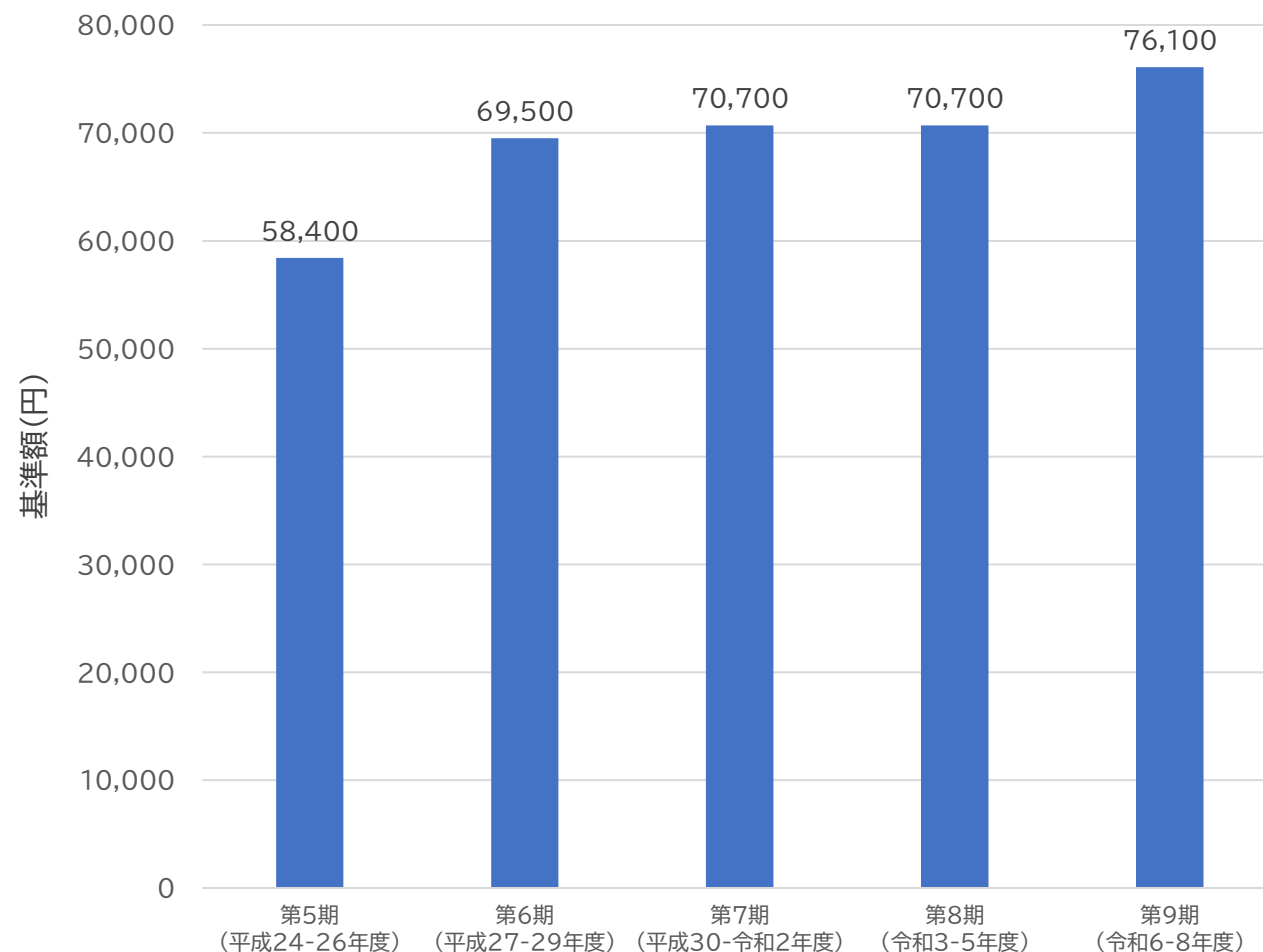
被保険者:65歳以上の人(第1号被保険者)

賦課期日:4月1日に満65歳以上の人 →4月1日

4月2日以降に転入された人 →転入日

65歳に到達された人 →誕生日の前日

■保険料基準額の推移(年額)



介護サービスの利用者は今後も増えることが予想されるため、第9期(令和6-8年度)は基準額を76,100円(月額6,342円)に引き上げた。

被保険者・認定

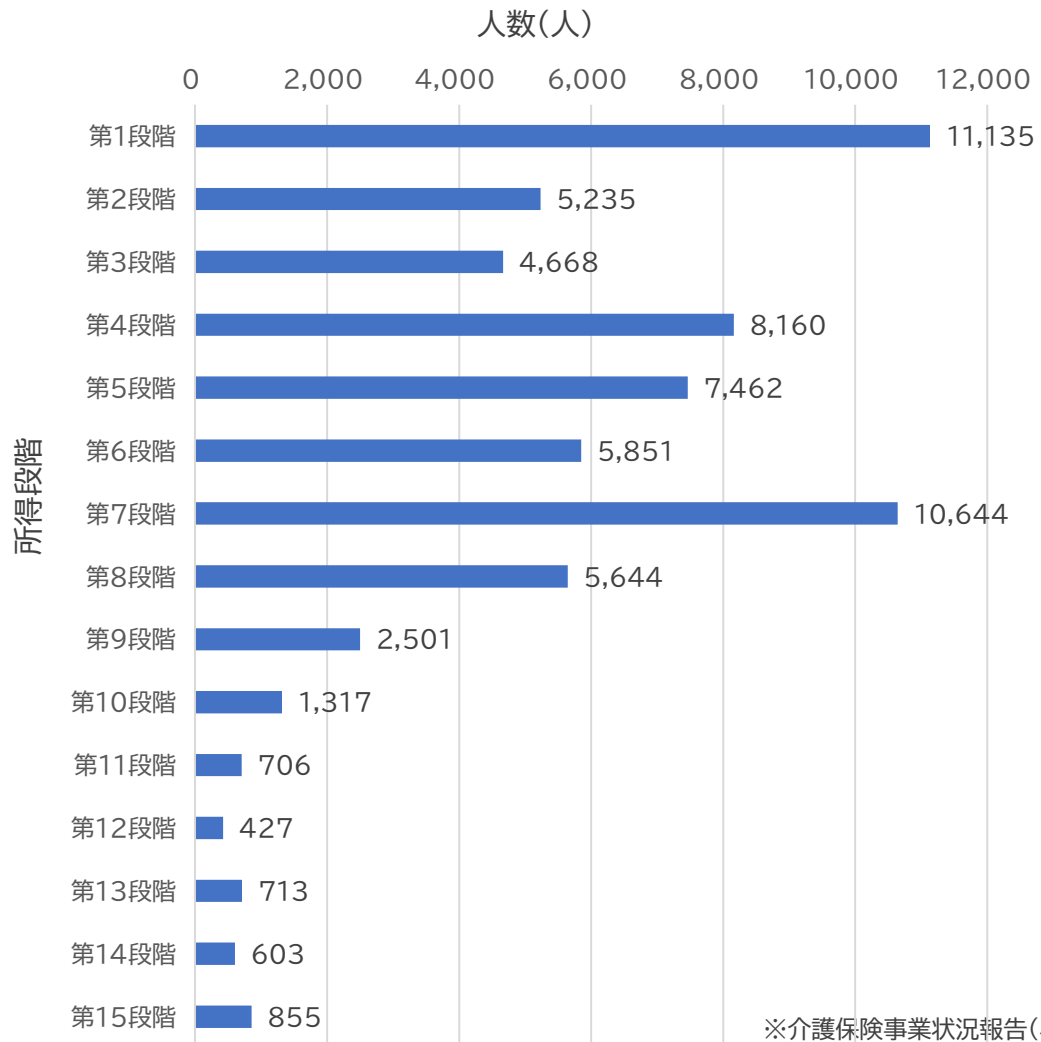
介護給付費

介護サービス

介護保険料

財務

2. 所得段階別第1号被保険者数



段階別に見ると、第1段階の被保険者が一番多く、次に第7段階の被保険者が多い分布となっている。

3. 徴収方法別収納状況

(円)

徴収方法		調定額	収納額	不納欠損額	未収額
特別徴収	合計	4,557,166,900	4,557,166,900	0	0
	現年度分	567,461,400	546,019,900	0	21,441,500
普通徴収	滞納繰越分	39,302,783	10,507,500	9,425,290	19,369,993
	合計	606,764,183	556,527,400	9,425,290	40,811,493

05

財務

被保険者・認定

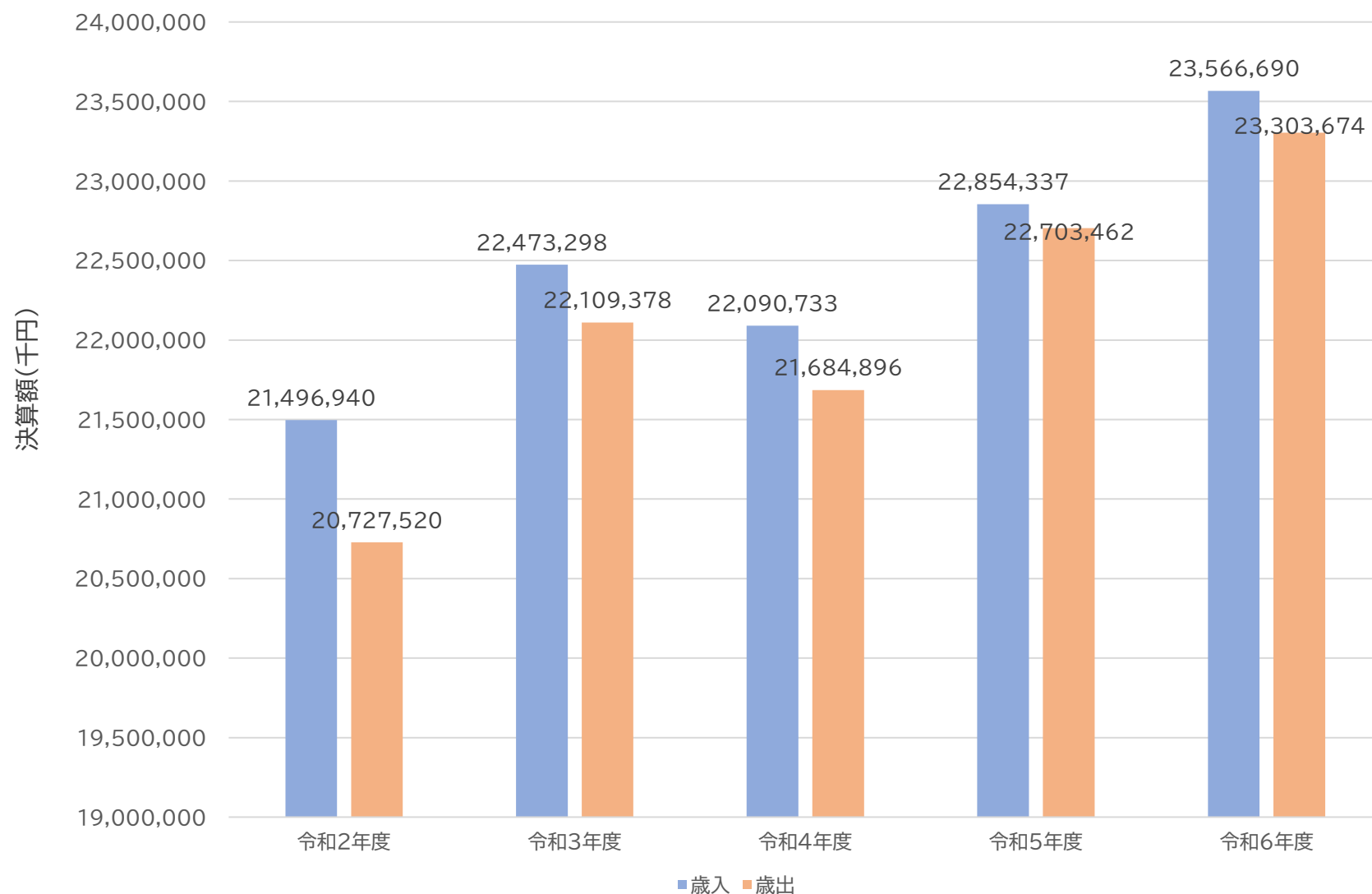
介護給付費

介護サービス

介護保険料

財務

1. 介護保険特別会計決算状況



令和5年度に引き続き、令和6年度は歳入・歳出共に決算額が大きく増加した。介護サービスの利用者が年々増えており、介護給付費が大きく増加していることが要因と考えられる。



発行：宝塚市 健康福祉部 介護保険課

令和7年(2025年)10月 発行

